

2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東  
 コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舛田正一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 三島まりこ (TEL) 096-370-0004  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績(2022年7月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	3,217	11.7	12	△13.7	29	△18.0	17	5.0
2022年6月期第2四半期	2,880	9.3	14	—	36	—	16	—

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 18百万円( 5.5%) 2022年6月期第2四半期 17百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	4.36	—
2022年6月期第2四半期	4.15	—

四半期連結経営成績に関する注記

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	2,603	474	18.2
2022年6月期	2,435	522	20.1

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 474百万円 2022年6月期 488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	8.53	8.53
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	—	—	11.11	11.11

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	6,150	5.0	110	6.1	110	△14.4	90	4.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —  
期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年6月期2Q	5,076,000株	2022年6月期	5,076,000株
2023年6月期2Q	1,026,552株	2022年6月期	1,026,552株
2023年6月期2Q	4,049,448株	2022年6月期2Q	4,049,448株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	10
(追加情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年7月1日から2022年12月31日まで)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和され経済活動の正常化が進み、景気回復の兆しが見られましたが、オミクロン派生型による新規感染の急拡大やウクライナ情勢の影響によるエネルギー価格高騰に加え、急速な円安等が重なり物価が上昇するなど、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような状況の中、当社グループは2年目を迎えた中期経営計画に掲げる「既存事業の収益性改善と新規事業の創出により持続的な成長を実現し、企業価値向上・株価上昇へつなげる」ことを基本方針として「コア事業での売上拡大」「事業基盤強化」「新サービス開始・新規事業の拡大」「企業価値向上」を重点戦略とし取り組んでおります。

この結果、各事業ともに引き続きコロナ禍から総じて回復基調にあったことや生花卸売事業において販売単価が上昇したこと等から、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、3,217,275千円(前年同期比11.7%増)、営業利益は12,217千円(前年同期比13.7%減)、経常利益は29,618千円(前年同期比18.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は17,657千円(前年同期比5.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、1,703,188千円(前年同期比8.1%増)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2022年7月から2022年11月までの売上高、取扱件数ともに、コロナ禍の影響を大きく受けた前年同期比では増加傾向で推移し、葬儀単価につきましてもやや持ち直し傾向で推移しました。

このように葬儀業全体では市場は今後も拡大傾向にある一方で、全国的に進む「家族葬」や「密葬」、「一日葬」等葬儀の小型化とともに単価の下落傾向に加え、引き続き新型コロナウイルスによる影響への対応が求められる状況となっております。

このような状況の中で、当事業では中期経営計画に基づく戦略の実行と葬儀の縮小傾向に対応した新たなサービス展開や新商品販売を実施してまいりました。その結果、前述のとおり売上高は増加したものの営業利益は原材料費高騰の影響を受け120,291千円(前年同期比23.5%減)となりました。

#### (生花卸売事業)

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っておりますが、当期間におきましては、コロナ禍から回復傾向にあったことや期の前半における天候不良による供給量の減少、並びに円安の影響により販売単価が上昇し、売上高は1,122,545千円(前年同期比17.8%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2022年12月)によると、2022年7月から2022年12月までの切花累計の取扱金額は33,147百万円(前年同期比9.0%増)、数量では401百万本(前年同期比1.0%減)と金額ベースでは上昇した一方、数量では減少し1本あたりの単価は上昇傾向で推移いたしました。

このような状況の中で、当事業では引き続き生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みを実行しつつ、合わせてコロナ禍の影響を最小化するための対応を実施した結果、営業利益は25,877千円(前年同期比209.7%増)となりました。

#### (ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、新型コロナウイルス感染拡大による結婚式の延期等により厳しい状況が続いておりましたが、徐々にキャンセル件数が大幅に減少する等回復基調で推移したことから166,465千円(前年同期比16.7%増)となりました。

少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウェディングやレストラン・ウェディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、これまでは大きな市場規模が保持されておりましたが、昨今のコロナ禍の影響を受け同市場規模は大幅に縮小し、その後徐々に回復基調で推移しております。

このような状況の中、同事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、東京・関西・九州エリアにおける既存顧客・エリアへの深堀による受注増、同エリアでの新規取引先拡大、リテール部門の売上拡大に取り組んでまいりました。その結果、営業利益は4,748千円(前年同期は9,828千円の損失)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務を除き各事業ともに比較的堅調に推移したことから、売上高は225,075千円(前年同期比7.8%増)となりました。利益面におきましては前述の売上の増加にともない、前期比で増益となったことにより、営業損失は7,417千円(前年同期は13,862千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ168,216千円増加し、2,603,280千円となりました。これは主に売掛金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ216,816千円増加し、2,128,983千円となりました。これは主に、借入金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ48,597千円減少し、474,297千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の通期の業績予想につきましては、2022年8月15日に公表いたしました連結業績予想から、現時点においては変更はありません

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	950,449	948,692
売掛金	510,736	684,776
商品	21,972	14,095
仕掛品	2,713	7,402
原材料及び貯蔵品	39,913	50,646
その他	52,865	58,309
貸倒引当金	△3,926	△5,814
流動資産合計	1,574,725	1,758,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	653,067	653,860
減価償却累計額	△309,616	△322,636
建物及び構築物(純額)	343,450	331,223
車両運搬具	23,968	25,036
減価償却累計額	△22,168	△22,578
車両運搬具(純額)	1,799	2,458
工具、器具及び備品	145,440	149,489
減価償却累計額	△135,626	△137,833
工具、器具及び備品(純額)	9,814	11,656
土地	221,424	221,424
その他	15,942	15,901
減価償却累計額	△11,555	△11,974
その他(純額)	4,386	3,927
有形固定資産合計	580,875	570,689
無形固定資産		
のれん	8,343	7,434
その他	1,523	1,125
無形固定資産合計	9,867	8,560
投資その他の資産		
差入保証金	52,141	53,061
保険積立金	188,538	188,538
破産更生債権等	8,708	8,708
その他	28,914	24,322
貸倒引当金	△8,708	△8,708
投資その他の資産合計	269,594	265,923
固定資産合計	860,337	845,172
資産合計	2,435,062	2,603,280

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	167,478	290,196
短期借入金	350,000	470,000
1年内返済予定の長期借入金	183,558	200,146
1年内償還予定の社債	7,400	3,850
未払金	70,371	61,958
未払法人税等	25,214	14,114
未払費用	126,008	114,404
賞与引当金	698	11,292
資産除去債務	10,000	10,000
その他	109,962	99,681
流動負債合計	1,050,692	1,275,643
固定負債		
長期借入金	767,377	760,929
リース債務	953	513
退職給付に係る負債	75,948	74,624
資産除去債務	17,196	17,272
固定負債合計	861,475	853,340
負債合計	1,912,167	2,128,983
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	144,268
利益剰余金	362,285	345,400
自己株式	△228,633	△228,633
株主資本合計	488,948	474,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	22
その他の包括利益累計額合計	△4	22
非支配株主持分	33,951	-
純資産合計	522,894	474,297
負債純資産合計	2,435,062	2,603,280

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,880,337	3,217,275
売上原価	2,472,806	2,807,422
売上総利益	407,531	409,852
販売費及び一般管理費	393,369	397,634
営業利益	14,162	12,217
営業外収益		
受取利息及び配当金	14	11
受取賃貸料	513	663
補助金収入	22,430	9,725
その他	5,724	12,261
営業外収益合計	28,683	22,661
営業外費用		
支払利息	5,145	4,369
為替差損	714	496
その他	872	393
営業外費用合計	6,732	5,259
経常利益	36,113	29,618
特別利益		
固定資産売却益	-	48
投資有価証券売却益	-	20
特別利益合計	-	68
特別損失		
固定資産除売却損	70	-
リース解約損	1,749	1,295
特別損失合計	1,819	1,295
税金等調整前四半期純利益	34,294	28,392
法人税、住民税及び事業税	17,526	12,019
法人税等還付税額	△1,170	△2,544
法人税等調整額	0	0
法人税等合計	16,356	9,474
四半期純利益	17,937	18,917
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,135	1,260
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,802	17,657

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	17,937	18,917
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	27
その他の包括利益合計	18	27
四半期包括利益	17,955	18,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,820	17,684
非支配株主に係る四半期包括利益	1,135	1,260

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	34,294	28,392
減価償却費	20,772	17,876
のれん償却額	834	908
リース解約損	1,749	1,295
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	863	1,888
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,414	10,594
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,004	△1,323
受取利息及び受取配当金	△14	△11
受取賃貸料	△513	△663
補助金収入	△22,430	△9,725
支払利息	5,145	4,369
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△20
固定資産除売却損益 (△は益)	70	△48
売上債権の増減額 (△は増加)	△181,689	△174,040
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△10,151	△7,544
仕入債務の増減額 (△は減少)	165,232	122,717
その他	16,303	△28,914
小計	43,883	△34,248
利息及び配当金の受取額	14	11
賃貸料の受取額	513	663
補助金の受取額	22,430	9,755
利息の支払額	△4,906	△4,267
リース解約損の支払額	△1,749	△1,295
法人税等の支払額	△27,036	△19,860
法人税等の還付額	11,984	578
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,136	△48,663
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期貸付金の増減額 (△は増加)	87	△3,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△8,397	△7,032
有形及び無形固定資産の売却による収入	-	48
投資有価証券の売却による収入	-	75
差入保証金の差入による支出	△5,470	△1,823
差入保証金の回収による収入	2,308	400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,472	△11,333
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	120,000
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	△88,514	△89,860
社債の償還による支出	△3,550	△3,550
配当金の支払額	-	△34,541
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△33,000
その他	△4,641	△808
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,705	58,239
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△63,041	△1,756
現金及び現金同等物の期首残高	976,362	950,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	913,320	948,692

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決 議	株式の 種 類	配当金の 総額(千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年9月28日 定時株主総会	普通株式	34,541	8.53	2022年6月30日	2022年9月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル装 花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,576,031	952,846	142,640	2,671,518	208,819	—	2,880,337
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,044	435,703	885	440,633	24,935	△465,569	—
計	1,580,075	1,388,550	143,526	3,112,151	233,755	△465,569	2,880,337
セグメント利益 又は損失(△)	157,230	8,354	△9,828	155,756	△13,862	△127,731	14,162

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△127,731千円には、セグメント間取引消去27,908千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△155,640千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル装 花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,703,188	1,122,545	166,465	2,992,199	225,075	—	3,217,275
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,056	538,799	802	542,658	28,900	△571,558	—
計	1,706,245	1,661,344	167,267	3,534,857	253,975	△571,558	3,217,275
セグメント利益 又は損失(△)	120,291	25,877	4,748	150,917	△7,417	△131,282	12,217

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△131,282千円には、セグメント間取引消去28,699千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△159,982千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載の通りであります。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。